

県建設業協会

担い手の継続的な確保へ取組み

新入社員フオロアップ研修

奈良県建設業協会(松本良三会長)は、去る15・16日の両日にわたり「新規参入者教育」を会館研修室で開催した。

将来への担い手確保が最重要課題となっていることから、労働環境の改善や人材教育に取り組むことで、将来にわたって担い手を継続的に確保することが目的。

15日及び16日の午前中は、T・O・コンサルティングファーム代表で能力開発コンサルタントの大道珠美氏を講師に招き、「オリエンテーション」、「会社の目的と求められる意

識」、「ビジネスパーソンの求められる姿勢・マナー」、「ビジネスパーソンに求められるマナー」などを解説。

モチベーションの向上、現場ルールを習得

主要な内容は▽オリエンテーションでは、積極的傾聴やビジネスにおけるじんぎ(人財・人材・人在)、問題意識をもつ重要性など▽会社の目的と求められる意識では、組織人としての役割など、その他、仕事の基本である報告・連絡・相談や指示・命令の受け方、ビジネスマナー

の基本、言葉遣いの基本とルール、来客対応(名刺交換)、仕事に必要な内容。16日午後からは、労働安全コンサルタントの堀江勉氏が「建設現場における安全管理遵守について」をテーマに会

社に定着でき後押しする内容。16日午後からは、労働安全コンサルタントの堀江勉氏が「建設現場における安全管理遵守について」をテーマに会

「スマント」と題して解説。主な内容は▽建設現場における労働災害の現状▽建設現場の1日の流れ▽労働災害防止のために何をしなければならないか▽建設現場での作業やケガ、病気の発生状況▽緊急時の措置と非難訓練▽保護具などの正しい取扱いや、建設現場の知識とノウハウ、労働災害を未然に防ぐために現場で守らなければならない

らない最低限のルールや知識を学び、受講者はグループ別に意見交換し、最後に発表した。



▶堀江講師からアドバイスを
受ける受講者
グループ別に意見をまとめた▼

